

(臨床研究に関する情報)

当施設では、下記の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体または通常の診療で得られる検査結果などの診療情報を用いて行います。この研究は、厚生労働省・文部科学省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」(令和3年文部科学省・厚生労働省・経済産業省告示第1号)に従って実施しています。この研究に関するお問い合わせや、検体・診療情報をこの研究に利用することにご了承いただけない場合は、下記の連絡先・相談窓口へご照会ください。検体・診療情報の利用にご了承いただけなかった場合でも、それが理由で不利益を受けることはありません。

この研究は、香川大学医学部倫理委員会で承認されています。また、香川大学医学部長より実施の許可を受けています。

[研究課題名] 膵癌術後のオリゴ肺転移に対する肺切除に関する多機関共同後ろ向き観察研究

[研究の目的]

限られた臓器への少数遠隔転移はオリゴ転移と定義され、いくつかのがん種においてオリゴ転移巣に対して局所治療を行い長期生存が得られた報告がなされています。膵がんにおいても、術後の肺転移再発に対する標準治療は全身化学療法ですが、肺転移が片葉かつ少数であった場合は、病理診断学的な意味も含めた肺切除が行われたり、化学療法が行われている途中で肺切除が行われたりすることもあります。

本研究は、膵がん術後のオリゴ肺転移再発に対する治療の現状を明らかにし、オリゴ肺転移再発に対する肺切除の意義と肺切除を受けた症例における予後因子を明らかにするために行う、大阪国際がんセンターが主任研究機関の多機関共同後ろ向き観察研究です。

[研究の方法]

対象となる患者さん

2009年1月から2019年12月の間に膵癌に対して根治手術が行われ、2020年12月31日までに肺転移に対して治療が開始された方

利用する検体・診療情報

診断名、年齢、性別、診療録、画像検査結果、病理結果、血液検査結果、等

[外部への検体・診療情報の提供]

データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、各施設で保管・管理しますが提供された情報は主任研究機関で新たに対応表を作成し研究責任者が保管・管理します。

[研究組織] : 研究代表者

この研究は、大阪国際がんセンターを主幹機関とする多機関共同研究として実施します。

< 研究機関及び研究責任者 >

: 大阪国際がんセンター 消化器外科 高橋 秀典

日本肝胆膵オンコロジーネットワーク (JON-HBP) 参加施設

日本肝胆膵オンコロジーネットワークのホームページ: <https://jon-hbp.org/>

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの個人情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[連絡先・相談窓口]

< 主幹機関の相談窓口 >

住 所：大阪府大阪市中央区大手前 3-1-69

施設名：大阪国際がんセンター 消化器外科

担当者：高橋秀典

電 話：06-6945-1181

< 当施設の相談窓口 >

住 所：香川県木田郡三木町池戸 1750-1

施設名：香川大学医学部附属病院 腫瘍内科

担当者：奥山浩之

連絡先：087-898-5111